

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催  
文部科学省 後援

令和6年度 第98回  
簿記実務検定試験  
第3級

(令和6年6月23日実施)

時間 9時00分から10時30分 (制限時間90分)

注意事項

- 1 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 2 問題用紙は1ページから6ページまであります。
- 3 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、挙手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 5 途中退室は原則できません。
- 6 試験終了後、問題用紙も回収します。

受験番号

受験番号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金 普通預金 売掛金 貸付金  
未収金 車両運搬具 備品 借入金  
仮受金 受取利息 発送費 支払利息

- a. 全商銀行から借用証書によって、現金 ¥700,000 を借り入れた。
- b. 営業用の自動車 ¥1,000,000 を購入し、代金は現金で支払った。
- c. 出張中の従業員から当店の普通預金口座に ¥68,000 の振り込みがあったが、その内容は不明である。
- d. 茨城運送から次の請求書を受け取り、商品の発送費としてただちに現金で支払った。

<h2 style="margin: 0;">請 求 書</h2>		No. <u>000724</u>			
〒310-0036 茨城県水戸市新荘3-7-2		20XX年 6月 20日			
<h3 style="margin: 0;">水 戸 商 店 御 中</h3>					
毎度ご利用ありがとうございます。 下記のとおりご請求申し上げます。		〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978-6 茨 城 運 送			
<b>今回ご請求額    ¥ 25,000</b>					
積込日	概 要	車種	基本運賃	高速料金	金 額
20XX/06/20	水戸市内	2 t	¥ 25,000	¥ 0	¥ 25,000
以下余白					
<b>合計金額</b>					<b>¥ 25,000</b>

2

徳島商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空欄のままにしておくこと。

取 引

6月/8日 香川商店から貸付金に対する利息 ¥7,000 を現金で受け取った。(伝票番号 No.69)

〳日 高知商店から営業用に商品陳列用ケース ¥320,000 を買い入れ、代金は小切手#14  
を振り出して支払った。(伝票番号 No.75)

**3**

埼玉商店（個人企業）の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳（略式）に転記しなさい。
- (2) 買掛金元帳に記入して締め切りなさい。
- (3) /月末における残高試算表を作成しなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳における小書きは省略すること。

iii 総勘定元帳および買掛金元帳には、日付と金額のみを記入すればよい。

取 引

/月 4日 得意先 東京商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A品 400個 @ ¥245 ¥98,000

5日 仕入先 栃木商店に対する買掛金 ¥26,000 を現金で支払った。

9日 得意先 東京商店に売り渡した商品の一部について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A品 10個 @ ¥240 ¥2,400

10日 仕入先 栃木商店から商品を仕入れ、次の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

<u>納 品 書</u>		令和○年 1月10日		
〒366-0035 埼玉県深谷市原郷80		No. 00012		
<b>埼玉商店</b> <b>御中</b>				
平素よりお世話になっております。 下記のとおり納品いたします。		〒320-0014 栃木県宇都宮市大曾3-1-46 栃木商店 		
品 名	数 量	単 価	金 額	備 考
C品	150個	200	30,000	
以下余白				
<b>合 計</b>			<b>¥30,000</b>	

/2日 仕入先 群馬商店に対する買掛金の一部 ¥90,000 について、小切手を振り出して支払った。

次ページに続く

17日 事務用の文房具を深谷文具店から現金で購入し、次のレシートを受け取った。

<b>深谷文具店</b>	
深谷市仲町11-1 電話：048-571-****	
<b>領 収 証</b>	
20XX年1月17日	No.0146
文房具代	¥1,300
<b>合計</b>	<b>¥1,300</b>
お預り	¥1,300
お釣り	¥0

18日 得意先 東京商店に対する売掛金の一部を次の小切手で受け取った。

ZS00014	<b>小 切 手</b>		全国 5001 0914-001
支払地	東京都新宿区大京町26		
	株式会社	<b>全商銀行 新宿本店</b>	
金額	<b>¥80,000</b>		東京都港区海岸1-8-25 <b>東京商店</b> 振出人 <b>東京悠一郎</b>
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください			
拒絶証書不要			
振出日	令和〇年1月18日		
振出地	東京都港区		東京

19日 仕入先 群馬商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

B品      400個      @ ¥160      ¥64,000

22日 得意先 神奈川商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

B品      180個      @ ¥250      ¥45,000

C品      100"      " " 340      ¥34,000

23日 営業用で使用している携帯電話の利用料金 ¥5,700 を現金で支払った。

25日 本月分の給料 ¥36,800 の支払いにあたり、所得税額 ¥2,600 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

30日 得意先 神奈川商店に対する売掛金の一部 ¥54,100 が当座預金口座に入金された。

**4** 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の文の  にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

a. 企業の経営活動に必要な財貨や債権などを資産といい、企業の経営活動によって生じた債務を負債という。負債を英語では  という。

語 群

1. Assets      2. Liabilities      3. Net assets

b. 一会計期間が終わると、総勘定元帳などの記録を整理し、当期純損益を計算してすべての帳簿を締め切る。それらの帳簿をもとに、会計期間の経営成績を明らかにするために  ア を、一定時点の財政状態を明らかにするために貸借対照表を作成する。この一連の手続きを  イ という。

語 群

1. 損益計算書      2. 繰越試算表      3. 決算      4. 期末

(2) 千葉商店（個人企業）の下記の資料によって、次の金額を計算しなさい。

a. 当期純利益      b. 期末の資本金

資 料

i	期首の資本金	¥	378,000
ii	当期の収益総額	¥	1,720,000
iii	当期の費用総額	¥	1,631,000
iv	期末における資産と負債の総勘定元帳残高		
	現金	¥	152,000
	売掛金	¥	375,000
	繰越商品	¥	190,000
	備品	¥	140,000
	買掛金	¥	280,000
	借入金	¥	110,000

**5** 愛媛商店（個人企業 決算年/回 /2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 決算整理事項の仕訳を示しなさい。
- (2) 未払金勘定と水道光熱費勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、勘定記入は、日付・相手科目・金額を示すこと。
- (3) 損益計算書および貸借対照表を完成しなさい。なお、損益計算書の費用の欄の ア（ ）にあてはまるもっとも適当な項目を次の語群から選び、記入しなさい。

語 群

売 上 仕 入 売上原価 商 品

元帳勘定残高

現 金	¥ 760,000	当 座 預 金	¥ 1,294,000	売 掛 金	¥ 1,350,000
貸 倒 引 当 金	8,000	繰 越 商 品	581,000	備 品	900,000
買 掛 金	1,130,000	未 払 金	49,000	資 本 金	2,800,000
売 上	8,971,000	仕 入	4,987,000	給 料	2,136,000
広 告 料	84,000	支 払 家 賃	780,000	水 道 光 熱 費	69,000
雑 費	17,000				

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥526,000
- b. 貸倒見積高 売掛金残高の2%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 備品減価償却高 取得原価 ¥1,500,000 残存価額は零（0）耐用年数は5年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。

$$\text{定額法による年間の減価償却費} = \frac{\text{取得原価} - \text{残存価額}}{\text{耐用年数}}$$



第98回 簿記実務検定 3級 商業簿記 [解答用紙]

<b>1</b>	借 方	貸 方
	a	
	b	
	c	
d		

<u>入金伝票</u>		No. _____	
令和○年 月 日			
科目	入金先	殿	
摘 要	金 額		
合 計			

<u>出金伝票</u>		No. _____	
令和○年 月 日			
科目	支払先	殿	
摘 要	金 額		
合 計			

<u>振替伝票</u>				No. _____			
令和○年 月 日							
借 方 科 目	借 方			貸 方 科 目	貸 方		
合 計				合 計			
摘要							

<b>1</b> 得点	<b>2</b> 得点	<b>3</b> 得点	<b>4</b> 得点	<b>5</b> 得点	総得点
----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	-----

試 験 場 校	受 験 番 号



売	上	10	仕	入	11	給	料	12
通	信	費	13	消	耗	品	費	14

(2) (注意) 買掛金元帳は締め切ること。

買掛金元帳				
栃木商店		1	群馬商店	2
	1/1	26,000	1/1	102,000

(3) 残高試算表  
令和〇年/月3/日

借方	元丁	勘定科目	貸方
	/	現金	
	2	当座預金	
	3	売掛金	
	4	繰越商品	
	5	備品	
	6	買掛金	
	7	借入金	
	8	所得税預り金	
	9	資本金	
	10	売上	
	11	仕入	
	12	給料	
	13	通信費	
	14	消耗品費	

4 (1) a

b ア  イ

(2) a   b

3  
得点

4  
得点

5

(1)

	借 方	貸 方
a		
b		
c		

- (2) (注意) i 水道光熱費勘定の記録は、合計額で示してある。  
 ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

未 払 金		8
3/31 現 金	25,000	1/1 前期繰越
		12/10 広告料
		49,000
水道光熱費		15
	69,000	

- (3) 損 益 計 算 書  
 愛媛商店 令和〇年/月/日から令和〇年/2月3/日まで (単位：円)

費 用	金 額	収 益	金 額
ア( )		売 上 高	
給 料			
貸倒引当金繰入			
減 価 償 却 費			
広 告 料			
支 払 家 賃			
水 道 光 熱 費			
雑 費			
( )			

貸 借 対 照 表

愛媛商店 令和〇年/2月3/日 (単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		買 掛 金	
当 座 預 金		未 払 金	
売 掛 金 ( )		資 本 金	
貸倒引当金 ( )		( )	
商 品			
備 品			

5  
 得点